

## 海外安全対策情報（2017年10月～12月及び2017年通年）

### 1 社会・治安情勢

2017年10～12月期の総犯罪発生件数は前年同期比でやや減少したが、犯罪発生率は日本と比較すると依然として極めて高い。

また、今年7月～9月期の犯罪件数との比較ではやや増加しており、例年の傾向と同様に気温の上昇に伴い犯罪発生件数は増加している。

更に、2017年通年では全体の犯罪発生件数は約5.6%減少したものの、性犯罪や詐欺が大きく増加していることに注意する必要がある。

### 2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

(1) 西豪州警察当局が発表した10～12月期の犯罪発生件数報告によれば、総犯罪発生件数は69,969件で、前年同期比で6.61%減少している。また、パース首都圏で西豪州全体の75.36%の犯罪が発生している状況に大きな変化はない。

また、2017年の年間犯罪件数は、西豪州全体で275,100件、パース首都圏206,624件で前年(2016年)比は5.59%減少、5.78%減少となっている。

なお、前年同期比及び前年比で発生件数が増加している詐欺については、そのほとんどがクレジットカードに関連するものとなっており、西豪州警察はその対策として、絶対に他人にパスワードを教えない、定期的に使用履歴などを確認するなどを呼びかけている。

#### (2) 2017年10～12月の主な犯罪発生件数内訳

##### (ア) 西豪州全体（合計69,969件、前年同比▲6.61%）

①家庭内暴行	5,109件	（前年比 ▲11.32%）
②家庭外暴行	3,169件	（同 ▲7.12%）
③脅迫	1,581件	（同 ▲27.84%）
④住居侵入窃盗	6,761件	（同 ▲3.46%）
⑤殺人	21件	（同 ▲27.59%）
⑥窃盗	20,260件	（同 ▲8.44%）
⑦強姦	1,216件	（同 +5.01%）
⑧麻薬	7,620件	（同 ▲23.07%）
⑨詐欺	6,910件	（同 +57.76%）

##### (イ) パース首都圏（合計52,727件、前年同比▲4.73%）

①家庭内暴行	3,106件	（前年比 ▲11.18%）
②家庭外暴行	2,213件	（同 ▲9.19%）
③脅迫	1,105件	（同 ▲26.04%）
④住居侵入窃盗	5,063件	（同 ▲8.33%）
⑤殺人	10件	（同 ▲54.55%）

⑥窃盗	16,849件	(同)	▲7.60%
⑦強姦	905件	(同)	+9.04%
⑧麻薬	5,121件	(同)	▲25.80%
⑨詐欺	6,222件	(同)	+86.90%

(3) 2017年(通年)主な犯罪発生件数内訳

(ア) 西豪州全体(合計275,100件,前年比▲5.59%)

①家庭内暴行	19,026件	(前年比)	▲11.35%
②家庭外暴行	12,353件	(同)	+1.50%
③脅迫	6,717件	(同)	▲14.49%
④住居侵入窃盗	26,235件	(同)	▲5.19%
⑤殺人	76件	(同)	+1.33%
⑥窃盗	83,291件	(同)	▲6.64%
⑦強姦	4,921件	(同)	+40.76%
⑧麻薬	33,925件	(同)	▲14.24%
⑨詐欺	21,645件	(同)	+26.62%

(イ) パース首都圏(合計206,624件,前年比▲5.78%)

①家庭内暴行	11,704件	(前年比)	▲16.03%
②家庭外暴行	8,799件	(同)	▲0.37%
③脅迫	4,635件	(同)	▲17.05%
④住居侵入窃盗	19,897件	(同)	▲8.43%
⑤殺人	44件	(同)	▲18.52%
⑥窃盗	68,683件	(同)	▲7.05%
⑦強姦	3,532件	(同)	+34.60%
⑧麻薬	23,775件	(同)	▲14.32%
⑨詐欺	18,696件	(同)	+42.96%

(4) 邦人被害事案

特異な事件は報告されていない。

3 テロ・爆弾事件発生状況

現時点で、当地でのテロリスト・グループ等の活動に関する具体的な情報には接していないが、テロに関する一般的な警戒は必要である。

4 誘拐・脅迫事件発生状況

特異な事件は報告されていない。

## 5 日本企業の安全に関わる諸問題

当地では一般的に対日感情は良好であり、現在までのところ日本企業にとって安全面で脅威になる問題は認められない。